

# おひさま

発行：社会福祉法人えどがわ  
東京都江戸川区松島 1-40-18  
発行責任者：田澤 茂

## 創刊号によせて



2011年6月30日  
創刊号



### 「子どもの笑顔」



社会福祉法人えどがわ  
理事長 田澤 茂

(東一の江幼稚園園長)

「おひさま」創刊にあたり、この法人誌が皆様の絆になりますように願います。

子どもたちの笑顔には癒しの効果があります。このたびの東北太平洋沖大地震のマスコミ報道のとても悲しいニュースが連日のようにテレビの画面から流れて、見ていると、とても辛いものがありました。しかし、ある時テレビから被災された家族の子どもたちの明るい笑顔が放映されました。友達と久しぶりの再会で思い切り遊んでいる姿でした。この画面を見た方は私同様ほっとされた方も多かったのではないのでしょうか。

さて、私の園では毎年のテーマとして「ニコニコ生活するには」を取り上げています。毎日ニコニコ顔で登園するのは難しいことですが、子どもたちの笑顔が少しでも多くなるように心がけています。実際には4月当初、保護者を恋しがって泣き叫ぶ新入園児がいます。担任に引き渡すと、後ろ髪ひかれる思いで園から去って行く保護者の思いも辛いものがあるだろう

と思います。この子どもたちも次第に園に慣れ、大きな声で挨拶ができ、園に着くと門のところまで、保護者と離られるようになってくると、子どもたちに笑顔が増え、大好きな先生や友達と思いっきり遊ぶことができるようになります。お迎えの時に子どもたちの口から「今日楽しかったよ」の報告があると日頃の疲れが飛んでしまうのではないのでしょうか。わが子の笑顔を見ることによって保護者の育児の疲れが癒され、子どもの笑顔が家族に広がってきます。また、私たちもこの子どもたちの笑顔に元気をいただくのです。

笑顔を引き出す秘訣は、規則正しい生活に始まり、「早寝早起きしっかり朝ごはん」です。早寝をするには、昼間の活動量にあると思います。しっかり活動すればおなかのすきまがすきます。おなかのすく生活をすれば、しっかりと食べて夜早く寝られますし、早く寝ると早起きができます。小さいうちに生活リズムをきちんとつけておきたいですね。そうすることによって笑顔が増えると思います。笑顔の輪が家庭や地域に大きく広がるといいですね。

## おひさまTOPICS

### 新副理事長挨拶



社会福祉法人えどがわ  
副理事長 秋山 秀阿

(光徳保育園園長)

平成 23 年度社会福祉法人えどがわの副理事長に就任することになりました江戸川区認可私立保育園園長会会長の秋山秀阿です。

現在、おひさま保育園を含めて、認可私立保育園は、40ヶ園になりました。社会福祉法人、宗教法人、個人、企業とそれぞれ設置団体は異なります。しかし、江戸川区の子育ての環境に、幼稚園、保育園の乳幼児教育機関が共に社会情勢

の変革の時代に向かいながら、次世代を担う乳幼児が育つよい環境の提供に努めております。幼稚園と保育園の団体が加わる他区にない先駆的な法人が、これからも行政と話し合いを持ちながら、それぞれの園の個性を伸ばしつつ、一歩ずつ確実に前に進める団体でいられるようにおひさま保育園、各園の努力、ご協力をお願いいたします。

法人誌「おひさま」創刊号、おめでとうございます。おひさまのごとく、子どもたちにとって暖かい法人として末代まで続くよう祈念し、ご挨拶に代えさせていただきます。

### 「おひさま」創刊の辞



社会福祉法人えどがわ  
常務理事 富澤 義夫

社会福祉法人えどがわは、本年をもって創立10年となりました。はじめに江戸川区、そして理事や評議員の先生方をはじめ、園長先生そして各おひさま保育園の先生方に感謝の意を表したいと思っております。

ここ十数年、保育は社会状況の変容と共に様変わりを見せていますが、周知のとおり当法人は他の社会福祉法人にない特色や強みを持って、江戸川区と共に民営化を推進してまいりました。そしてそれは、今後も尊重され、継続されるべきものであります。より一層の努力と人知

の結集をお願いしたく思います。

この度、昨年度来より編集委員の先生方を主に編集計画を進めてきました法人誌「おひさま」が創刊されることとなり、この法人誌の主旨として、編集などにあたり、私たちは広く交流を深め、情報を共有化しなければなりません。

最後にこの法人誌については、今後、法人内外の活動内容や報告、成果などを発信させていただくにあたり、単なる事象や事物掲載の一過性のものとせず、多くの方々の声や問いかけ、ご提案を同時にいただきながら、そして評価を受けながら、この法人の飛躍の糧を得るためのコミュニティペーパーとならんことを願います。

## おひさまTOPICS

# 松本おひさま保育園開園



松本おひさま保育園  
園長 小笠原 晴子

平成23年4月、社会福祉法人えどがわの12番目の保育園として開園しました。よろしくお願いいたします。

当園は、昨年度まで江戸川区立松本保育園として33年間の歴史があり、「子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され地域に愛される保育を目指します。」という理念のもと運営しておりました。

昨年7月から法人えどがわの職員が引継ぎに入らせていただき、安心できる丁寧な引継ぎを行うため、保育と一緒に入り、保育園の運営、民営化を進めさせていただきました。引継ぎ中は公立保育園の保育士のご協力・ご支援のもと、また、子ども達をはじめ保護者の皆様、近隣の方々に支えられながら、無事4月の開園に漕ぎ着けたことを感謝しております。

松本おひさま保育園では毎日子どもが伸び伸び生き生き過ごし、安心できるような環境作りに務め、公立保育園の良さ、と私立保育園のよいところを保育に活かしたい、とう気持ちでスタートしております。園舎や園庭は2年前に建て替えを行っており、快適な空間の中子ども達は、園庭でプランターを覗き込んでお花や虫



探しを楽しんだり、乳児組は、砂遊び・ままごと等、幼児組の鬼ごっこ・フラフープ・スクーター等その日によって色々な遊びを楽しみ満喫しています。

4月の中旬、園庭にこいのぼりを上げました。子ども達が悠々と泳いでいるのを見て、「わぁー可愛いね。」「お父さんと、お母さんと子どもがいっぱいだねー。」と笑顔でお話ししていました。

まだ始まったばかりですが、これからの子ども達の成長、一人ひとりが丁寧に安全で安心して遊び・生活できるように保育士同志はもとより、信頼関係・コミュニケーションを充分はかり、より良い保育をどのようにしていくか、松本おひさま保育園の目標である「心もからだも元気な子」を、保護者の方と一緒に考えられるような保育を行っていくよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

近隣には臥竜の松で有名な松本弁天やなかよし児童遊園など、緑が多くあります。



**\*平成22年度 社会福祉法人えどがわ決算報告\***

**貸借対照表**

平成23年3月31日現在

(単位：千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	349,916	流動負債	66,715
固定資産	402,518	固定負債	38,716
基本財産	49,000		
その他固定資産	353,518	負債の部合計	105,431
		<b>純資産の部</b>	
		基本金	49,000
		国庫補助金等特別積立金	10,925
		その他の積立金	271,780
		次期繰越活動収支差額	315,298
		純資産の部合計	647,002
<b>資産の部合計</b>	<b>752,433</b>	<b>負債・純資産の部合計</b>	<b>752,433</b>

**資金収支決算内訳**

(自)平成22年4月1日 (至)平成23年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	本部	施設(11園)
経常収入計	1,867,041	120,931	1,746,110
経常支出計	1,661,466	20,490	1,640,976
<b>経常活動資金収支差額</b>	<b>205,575</b>	<b>100,441</b>	<b>105,134</b>
施設整備等収入計	31,230	0	31,230
施設整備等支出計	21,191	0	21,191
<b>施設整備等資金収支差額</b>	<b>10,039</b>	<b>0</b>	<b>10,039</b>
財務収入計	0	0	0
財務支出計	63,020	0	63,020
<b>財務活動資金収支差額</b>	<b>-63,020</b>	<b>0</b>	<b>-63,020</b>
当期資金収支差額合計	152,595	100,441	52,153
前期末支払資金残高	130,606	42,679	87,927
<b>当期末支払資金残高</b>	<b>283,201</b>	<b>143,121</b>	<b>140,080</b>

**\*平成23年度 社会福祉法人えどがわ予算報告\***

**資金収支予算内訳**

(自)平成23年4月1日 (至)平成24年3月31日

(単位：千円)

科目	合計	本部	施設(12園)
経常収入計	2,052,213	133,838	1,918,374
経常支出計	1,918,554	41,547	1,877,007
<b>経常活動資金収支差額</b>	<b>133,659</b>	<b>92,292</b>	<b>41,367</b>
施設整備等収入計	14,910	0	14,910
施設整備等支出計	15,322	2,000	13,322
<b>施設整備等資金収支差額</b>	<b>-412</b>	<b>-2,000</b>	<b>1,588</b>
財務収入計	0	0	0
財務支出計	21,714	0	21,714
<b>財務活動資金収支差額</b>	<b>-21,714</b>	<b>0</b>	<b>-21,714</b>
当期資金収支差額合計	111,533	90,292	21,242
前期末支払資金残高	237,339	42,679	194,660
<b>当期末支払資金残高</b>	<b>348,872</b>	<b>132,971</b>	<b>215,901</b>

＊平成23年度 おひさま保育園事業計画 重点目標＊

●葛西おひさま●

- 1) 職員全体で協力体制を作り、連絡・相談し合いながら、全園児の育ちを保育士同士、また、保護者や子どもと共感出来る関係作りをする。
- 2) 職員一人ひとりが仲間との関係を深め、お互いを高められるよう園内研修を充実させ、質の向上を目指すと同時に保育士としての自信を付け、自分自身を磨く。
- 3) それぞれの時期の発達の実情に沿った安全な行動をとれるよう、園舎(保育室)や園庭等の環境を整え、工夫した設定をする。

●新堀おひさま●

- 1) 保育の振り返り・見直しを行い、全職員にて共通認識を持ち、知識・技術の向上に努めながら、職員間で育ち合える環境作りを行う。
- 2) 更なる充実した保護者との連携を図る為の環境作りを行う。
- 3) 安心できる環境作りとして、危機管理、安全対策、防犯対策の充実を図る。

●東小松川おひさま●

- 1) 保育士が自己目標をしっかりと持ち、子ども達の気持ちを捉えつつ、知識、技術の向上に努める。
- 2) 子育てひろば一時保育、地域の小・中・高校生との交流、ボランティア、各養成校の実習生の受入れを通して保育園の役割が理解を得られるようにする。
- 3) 保護者との連携を大切にし、利用者アンケート等の結果への対応を進めていく。
- 4) 安全対策を重視し、補修点検を実施する。

●鹿骨おひさま●

- 1) 職員同士の連携(連絡・相談・報告)を大切にしながら、一人ひとりが保育技術・知識の向上を図ることを意識し、共通の認識をもち日々の保育を進めていく。
- 2) 生活環境や整備を整え、安全に楽しく日々の生活が送れるようにする。
- 3) 子どもたち一人ひとりの発達過程を踏まえた保育を行い、家庭と連携を図りながら子ども達の育ちを見守る。
- 4) 施設の安全管理や危機管理意識を持ち、安全対策の充実を図る。
- 5) 地域のニーズに応じて地域交流の取り組みや家庭支援を積極的に行う。

●北葛西おひさま●

- 1) 挨拶・笑顔・丁寧な保育を徹底する。
- 2) 自覚や責任を意識した態度・対応を心掛ける。
- 3) 日々の積み重ねや継続する意味や大切さを理解する。

**＊平成23年度 事業計画 重点目標＊**

●葛西第二おひさま●

- 1) 子どもたちが安心して安全に過ごせる環境作りを徹底する。
- 2) 専任講師による保育活動を開始する。
- 3) 保育知識・技術を高め保護者への相談や地域における家庭支援を進めていく。

●春江おひさま●

- 1) 子どもの発達を理解し、生活リズムを把握、子どもの情緒の安定を図る様に努める。
- 2) 保護者・地域との交流を図り、情報交換しながら、子育ての拠点となる保育園作りを行う。
- 3) 職員のチームワークを大切にして、知識・技術の向上をする為に保育の見直し、話し合いを行う。

●東小岩おひさま●

- 1) 子どもの発達や興味に応じ、欲求を満ちし、じっくり遊べるよう保育内容・環境の充実を図る。改修後の園舎の使用に伴い使用頻度、動線、死角、子どもの予想しない動きを確認し、安全対策の充実を図る。
- 2) 一人ひとりが保育技術・知識を習得し、資質向上に努める。
- 3) 職員間のチームワークを強固にし、子ども、職員、保護者、地域の方々が笑顔で過ごせるよう信頼関係を深める。
- 4) 家庭支援では、保護者が気軽に相談できる場を提供する。
- 5) 幼・保・小との連携、高齢者施設の訪問など積極的に進める。

●西篠崎おひさま●

- 1) 健康一元気な子：個人差を配慮し、一人ひとりの発達や興味に応じて、達成感を味わうようにする。
- 2) 人間関係一仲の良い子、考える子：人としての関りを考え、大切に育てる。
- 3) 環境：自然環境に関心を持つ。(昆虫、小動物の生態、季節、天候)
- 4) 言葉一言葉遊び：自分の思った事を言葉で表現する。
- 5) 表現：音楽や絵に親しみ、聴いたり、歌ったり、作ったりする事を楽しむ。
- 6) 食育(収穫)：各年齢にあった作物を選び、計画性を持たせていく。四季を感じ、作る中で収穫の喜びを知る。

＊平成23年度 事業計画 重点目標＊

●西小岩おひさま●

- 1) 新たな保育プログラム（体育指導）の充実。
- 2) 改修工事が予定されているための保育の安全管理体制。
- 3) 職員一人ひとりが、保育士としての質の向上を目指す意識を高め、全職員で連携を図りながら同じ目標を持ち、日々の保育を進めていく。
- 4) 前年度の第三者評価結果を真摯に受け止め、保育や運営面での見直しをし、園児、保護者共により信頼される運営を目指していく。

●松江おひさま●

- 1) 人の関係や環境が暖かい保育園作り。
- 2) 音楽リズムの保育計画を作り上げる。実践を検討しあう。
- 3) 保育内容の充実のために職員一人ひとりが自ら学ぶ姿勢を持つ。
- 4) 乳児と幼児の保育のつながりを確認し、重点がみんなの認識となる。
- 5) 安全への配慮や緊急時の対応も一致して誰もができる。
- 6) 研修に力を入れる。

●松本おひさま●

- 1) 保護者が安心して預けられるように話合う機会を作り対応していく。
- 2) 安全に気をつけ環境を整える。
- 3) 職員全員が保育方針に基づいて共通認識を持つ。
- 4) 保育の向上のため、研修・会議の充実をさせる。



リレー随筆

このたびは法人誌創刊の運びとなり、皆様方には法人のことを少しでも知っていただき、より一層ご理解いただけるものと喜んでおります。今回は私が原稿依頼を受け、新卒として社会人となった頃を振り返って書かせていただきます。

私は新卒で2年間、名古屋市内にある私立幼稚園に勤務しました。学生時代、実習や実技など勉強したものの、年中児40名を一人で担任し、しかも全園児580名という大きな幼稚園で通園バスが3台、バス当番が毎日のように回って来ました。慣れるまでには失敗も多くあった新卒時代でした。年間行事も多く、数々の保育経験をさせて頂きましたが、今思うと若さで

乗り切り、楽しい思い出がいっぱいです。東京生まれの私にとって名古屋での生活は赤味噌・溜り醤油など特に食べ物の違いには驚かされました。その後、東京に戻り保育園で勤務することになりましたが、名古屋での2年間の経験は、今日の礎となりました。

そして園長になった今、新卒の若い先生方に失敗を恐れずそれを自分のバネとして成長して欲しいと願っています。その後の保育の動向は目まぐるしく変化し、昭和から平成となり保育園の需要も多様化し、保育士の役割もより一層重要になって来ました。しかし子どもに携わる感性や愛情を持って接する心だけは決して変わることのないよう「初心忘れるべからず」の気持ちで取り組んでいきたいと思えます。

東小松川おひさま保育園

園長 森 佐知子



**給食室の人気メニュー**

提供：(株)LEOC

**ミートソーススパゲティ**

《材料》 子ども 5人分

- ・スパゲティ.....200g
- ・豚挽き.....200g
- ・玉ねぎ.....175g
- ・人参.....40g
- ・ピーマン.....25g
- ・油.....5g
- ・トマトダイス缶.....75g
- ・トマトピューレ.....20g
- ・ケチャップ.....50g
- ・砂糖.....10g
- ・チキンコンソメ.....4g
- ・水.....175g

A

《作り方》

- ① 玉ねぎ、人参、ピーマンはみじん切りにする。
- ② ピーマンは下ゆでしておく。
- ③ 鍋に油をひき、豚挽きを炒める。色が変わってきたら、玉ねぎ、人参を加え炒める。
- ④ ③にトマトダイス缶、トマトピューレ、水を加えてひと煮たちさせる。
- ⑤ アクを取り、Aの調味料を入れて弱火で10分くらい煮たら最後に②を混ぜる。
- ⑥ 茹でたスパゲティに⑤をかけて出来上がり

編集後記

社会福祉法人えどがわとして、10年目を迎えようとしています。様々な方々の協力がありました。これから江戸川区の子どもたちのため、保育園の持つ役割をしっかりと発揮できるような保育園を目指していきたいものです。法人誌発行にあたり、広くたくさんの方々におひさま保育園の現状をお伝えできる機会を得、今後皆様のご理解やご協力、ご指導を頂けますよう、よろしくお願いいたします。

編集委員 澤田